

Fairy TopIX 2011 候補作一覧

※推理将棋・プルーフゲーム部門 候補作一覧

推1～推33	詰将棋メモ 出題	P2～P20
推34	詰四会フェアリー作品展	P21
推35～推36	WFP作品展	P22～P23
推37～推40	詰工房オールカマー2011	P24～P28
推41～推42	第2回フェアリー短編コンクール	P28
推43(追加)	詰将棋メモ 出題	P29

候補作は全40作。2011年にネット上に掲載された作品となります。目次の通り掲載年月日順ではなく、発表場所別に分類しております。

(3/26追記) 詰将棋メモ 第51回出題4番の記載が漏れておりました。お詫びして追加します。

推1 2011/2 小春日和作

順序正しさは律儀に勝る？ 10手

「たった10手で詰んでしまいました。先手の敗因は何だったのでしょうか？」

「3手目から律儀に、3・4・5・6筋の順に指したことじゃろのお」

「では後手の勝因は？」

「4手目から順序正しく、1・2・3・4筋の順に指したことじゃよ」

〈詰将棋メモ 第41回出題 第1番〉

▲3六歩、▽1四歩、▲3七桂、▽1三桂、▲4六歩、▽2五桂、▲5八飛、▽3七桂成、▲6八銀、▽4七桂 まで10手

正解者：16名

推2 2011/2 タラパパ作

止めはどれも銀(1) 11手

盛大に開催された、第41回推理将棋全国大会の会場にて。

ぼく「いやぁ派手な将棋を見たよ。先手が3手目に3筋で王手をかけたと思ったら、5手目は4筋で王手、7手目は5筋で王手と、次々に左隣の筋に移して、最後まで王手をかけ続けたんだ」

A君「僕もそんな将棋を見たよ」

B君「僕を見たのもそんな将棋だったね。これだけ対局があれば似た将棋もあるさ」

ぼく「でもね、最後まで大駒を成る手がなかったんだ。珍しいだろ？」

A君、B君「同じ同じ」

ぼく「え？まさか、止めは銀の手じゃないよね？」(※)

A君、B君「銀の手だったよ」

全員「どうやら僕たちは3人とも、同じ将棋を見ていたんだね」

ぼく「たった7手で詰まされた後手、気の毒で見てられなかったよねえ」

A君「7手だって？違うさ、11手で詰んだんだよ」

B君「何言ってるんだ。15手だよ、15手で詰み。間違いない」

どうやら、3人とも別の将棋を見ていたようです。ぼくの見た将棋は、言うまでもなく76歩、54歩以下53銀までの7手なのですが、A君、B君の見た将棋とは？

<詰将棋メモ 第41回出題 第2番>

▲7六歩、▽5二金右、▲3三角不成、▽4二銀、▲同角不成、▽6二玉、▲5三角不成、▽6一玉、▲6二銀、▽7二玉、▲7一銀成 まで11手

正解者：15名

推3 2011/2 タラパパ作

止めはどれも銀(2) 15手

推2と同じ会話

<詰将棋メモ 第41回出題 第3番>

▲7六歩、▽7四歩、▲3三角不成、▽4二銀、▲同角不成、▽6二玉、▲5三角不成、▽7三玉、▲6四角不成、▽8四玉、▲7三角不成、▽8五玉、▲8六歩、▽9四玉、▲9五銀 まで15手

正解者：16名

推4 2011/3 魚熊作

京都府の将棋 7手

「『京都府の将棋』を指したんだって？」

「いや単に7手目に相手の香の頭に歩を打っただけなんだけど」

「なんだ『香頭歩』か」

「成る手はなかったし、同じ人が1つの筋の手を2回指した事もなかったよ」

<詰将棋メモ 第42回出題 第1番>

▲7六歩、▽3四歩、▲6六角、▽4四角、▲9三角不成、▽1七角不成、▲1二歩 まで7手

正解者：14名

推5 2011/3 ○術師作

一番奥への歩成 10手

「10手目、敵陣一番奥への歩成まで、と」

「成る手はこの10手目だけだったね……不成もあったのに」

「金気の手が7手目だけとは少なかったんじゃない？」

<詰将棋メモ 第42回出題 第2番>

▲7六歩、▽4四歩、▲同 角、▽4二飛、▲7七角、▽4七飛不成、▲5八金右、▽4八歩、▲6八角、▽4九歩成 まで10手

正解者：14名

推6 2011/3 タラパパ作

一段目に歩の手が2回 11手

「珍しい将棋を見たよ。11手で詰んだんだけど、一段目に歩の手が……」

「どうせ歩成だろ？そんなの珍しくも何ともないさ」

「慌てないで最後まで聞けよ。一段目に歩の手が2回もあったんだ。珍しいだろ？ しかも不成なんて手も出てきたんだ」

「不成も別に珍しくはないけど……読めてきたぞ、で4手目は何だった？」

「同歩だね」

「それで全手順が分かったよ」

<詰将棋メモ 第42回出題 第3番>

▲7六歩、▽7四歩、▲7五歩、▽同歩、▲4四角、▽5二金右、▲5三角不成、▽6一玉、▲7二歩、▽5一歩、▲7一歩成 まで11手

正解者：13名

推7 2011/4 ○術師作

三吉超え 9手

「坂田三吉を超えたね」

「最初から4手目まで端だったからね」

「坂田三吉の将棋に不成はあったっけ？」

「少なくとも我々の将棋にはなかったね」

「9手で詰んだ将棋は坂田三吉と言えどもなかったらうな」

さてどんな将棋だったのだろうか。

<詰将棋メモ 第43回出題 第1番>

▲9六歩、▽1四歩、▲9七角、▽1三角、▲5八飛、▽5七角成、▲同飛、▽5二玉、▲5三飛成 まで9手

正解者：20名

推8 2011/4 はなさかしろう作

同飛成まで 9手

「さっきの将棋、あつという間だったね」

「うん。9手で同飛成まで、だったね」

「4手目の銀がどうかとは思ったけどな」

さてどんな将棋だったのだろうか。

<詰将棋メモ 第43回出題 第2番>

▲7六歩、▽4二飛、▲3三角不成、▽8二銀、▲4二角不成、▽5二玉、▲7一飛、▽7二金、▲同飛成 まで9手

正解者：18名

推9 2011/4 DD++作

偶数段の攻防 9手

「よし、たった9手で詰ませたぞ」

「負けました、玉の手か6手目の大駒が失敗だったかなあ」

「きっと3手目の成る手がよかったんだよ」

「そういえばこの将棋、偶数段の着手だけだったね」

さてどんな将棋だったのだろうか。

<詰将棋メモ 第43回出題 第3番>

▲7六歩、▽3四歩、▲2二角成、▽4四歩、▲同馬、▽6二飛、▲2四角、▽5二玉、▲3四馬 まで9手

正解者：19名

推10 2011/5 KG作

実際には指さなかった手 7手

「昨日隣でやってた将棋見たかい？」

「ああ見たよ。確か7手で後手が詰まされてたね」

「先手は5手目に銀を取りながら駒を成る手を指すことができたけど

実際にはその手は指さなかったね。それが勝因かな」

「後手は6手目に同銀と指すことができたけど

実際にはその手は指さなかったね。それが敗因かな」

さて、二人の見た将棋はどういう将棋だったのでしょうか？

<詰将棋メモ 第44回出題 第1番>

▲7六歩 ▽3四歩 ▲2二角不成 ▽5二金左 ▲4二角 ▽4一玉 ▲3
一角右成まで7手

正解者：20名

推11 2011/5 KG作

打歩詰を知らない二人(A) 11手

A君「さっき隣でやってた将棋見たかい？」

B君「ああ、11手目に指した手が打ち歩詰めだったやつだね」

A君「そうそう。どうやら二人とも打ち歩詰めが禁じ手だって知らなかったみたいだね」

B君「つまり打ち歩詰めは禁じ手ではないが、それ以外は通常の指し将棋と同じルールで二人とも対局していたってことだね」

A君「そして、11手目に持ち駒の歩を打って相手玉を詰ませて終局したわけだ」

B君「そういうことだね」

A君「確か、1手目と2手目は玉の手だったね」

B君「それから、3手目と4手目は歩の手だったよ」

A君「そうそう、7手目は不成の手だったよね」

B君「えっ？7手目は駒を成る手じゃなかったっけ？」

どうやら、A君とB君は両隣の全く別手順の将棋を見ていたようです。

二人の見ていた将棋はそれぞれどういう将棋だったのでしょうか。

<詰将棋メモ 第44回出題 第2番>

▲5八玉 ▼5二玉 ▲7六歩 ▼5四歩 ▲3三角不成 ▼4二銀 ▲同角不成 ▼6六角 ▲5一銀 ▼5七角不成 ▲5三歩まで11手

正解者：20名

推12 2011/5 KG作

打歩詰を知らない二人(B) 11手

推11と同じ会話

<詰将棋メモ 第44回出題 第3番>

▲4八玉 ▼6二玉 ▲7六歩 ▼6四歩 ▲3三角不成 ▼7二飛 ▲4二角成 ▼7七角成 ▲4一馬 ▼6七馬 ▲6三歩 まで11手

正解者：20名

推13 2011/6 渡辺秀行作

6手目の妙手 8手

「昨日の将棋、たったの8手で負けちゃったよ」

「それは災難だったねえ」

「初手の平凡な歩突きは悪くないと思うんだ。しかし、6手目に同角成と39の駒を取られたのが敗因だね。うっかりしていたよ」

さて、二人の見た将棋はどういう将棋だったでしょうか？

<詰将棋メモ 第45回出題 第1番>

▲5六歩 △3四歩 ▲3八銀 △6六角 ▲3九金 △同角成 ▲6八銀
△4八金 まで8手
正解者：25名

推14 2011/6 ○術師作

一番奥への歩成2 10手

「10手目、敵陣一番奥への歩成まで、と」

「5手目の金気が微妙だったかなあ？」

「不成もあったね」

さて、どんな将棋だったのだろうか？

<詰将棋メモ 第45回出題 第2番>

▲7六歩 △3二飛 ▲3三角不成 △同飛 ▲5八金右 △3七飛成 ▲4
九玉 △3八歩 ▲5九金寄 △3九歩成 まで10手
正解者：25名

推15 2011/6 チャンプ作

駒柱詰 13手

少年A「13手で勝ったけど素直に喜べないよなー。」

少年B「どうしたの？」

少年A「六段目の香打ちで駒柱が完成して詰みだったんだよね。」

少年B「不吉だねー。」

さて、どんな将棋だったのだろうか？

<詰将棋メモ 第45回出題 第3番>

▲7六歩 ♽3四歩 ▲2二角成 ♽4二玉 ▲1二馬 ♽3三玉 ▲1一馬
♽2四玉 ▲2二馬 ♽2五玉 ▲2四角 ♽1四歩 ▲2六香 まで13手
正解者：23名

推16 2011/7 けいたん作

馬の手は角成の手にあらず 9手

「さっきの将棋9手で詰んだんだって！13馬の手には驚いたよ」

「それより22に角を打った手だよ。酔理将棋っていうのかな。だいぶお酒が入ってたみたい」

さて、どんな将棋だったのだろうか？

<詰将棋メモ 第46回出題 第1番>

▲7六歩 ♽3四歩 ▲2二角成 ♽5二金左 ▲1三馬 ♽4一玉 ▲2二
角 ♽5一金寄 ▲3一角成 まで9手 正解者：21名

推17 2011/7 DD++作

鯨飲馬食 11手

「この11手で詰んだ将棋おもしろいな」
「初期位置のままの歩を馬が5枚も食ったのか」
「鯨飲馬食とはよく言ったものだ」

さて、どんな将棋だったのだろうか？

<詰将棋メモ 第46回出題 第2番>

▲7六歩 ♽6二玉 ▲3三角成 ♽7二玉 ▲4三馬 ♽7七角成 ▲6八飛 ♽6七馬 ▲5三馬 ♽5七馬 ▲6三馬 まで11手

正解者：21名

推18 2011/7 はなさかしろう作

馬術競技 10手

「古い棋譜を見つけたよ。パロン西が作ったらしい」
「また適当なことを言って…ほう、10手で詰みか」
「角成が2回あって、馬の手も2手あるんだ」
「でも詰め上がりで敵陣にいる駒は馬が1枚だけ。慎ましいな」
「そうなんだ。馬術競技みたいだろ？」

さて、どんな将棋だったのだろうか？

<詰将棋メモ 第46回出題 第3番>

▲7六歩 ♽3四歩 ▲7七桂 ♽同角成 ▲5八玉 ♽8七馬 ▲2二角成 ♽6六桂 ▲6八玉 ♽8六馬 まで10手

正解者：16名

推19 2011/8 はてるま作

奇数筋だけ 7手

「たった7手で詰んじゃった」

「奇数筋の手しかなかったね」

「2手目の玉がおかしかったかな」

さて、どんな将棋だったのだろうか？

<詰将棋メモ 第47回出題 第1番>

▲9六歩 ♽5二玉 ▲9七角 ♽5四歩 ▲3一角成 ♽5一金左 ▲5三銀 まで7手

正解者：21名

推20 2011/8 はてるま作

偶数筋だけ 10手

「10手で詰んじゃった」

「偶数筋の手しかなかったね」

「2手目の歩がよかったかな」

「先後とも大駒を動かしたよ」

さて、どんな将棋だったのだろうか？

<詰将棋メモ 第47回出題 第2番>

▲6六歩 ♽6四歩 ▲6五歩 ♽6二飛 ▲6四歩 ♽同 飛 ▲6八金 ♽同飛不成 ▲4八飛 ♽6九金 まで10手

正解者：21名

推21 2011/8 KG作

五段にならねば五段になれぬ 10手

「昨日のプロ対局は見物だったな」
「先手も後手も五段昇格がかかっていたからね」
「結果は10手で詰ませた後手が五段になったよね」
「俺それ見逃したんだ。どういう将棋だったか教えて」
「後手が五段になったんだ」
「それはさっき聞いた」
「いや、そうじゃなくて。後手が五段目に駒を成る手を指したんだ」
「あ、そういうことか。他に覚えていることは無いか？」
「確か、不成の手が4回もあったよ」
「へえ」
「それから偶数筋への着手は5手目のみだったね」

さて、どんな将棋だったのだろうか？

<詰将棋メモ 第47回出題 第3番>

▲5八玉 ▽3四歩 ▲5九金左 ▽7七角不成 ▲4八金直 ▽5九角不成
▲1一角不成▽9五角成 ▲5五角不成 ▽5九金 まで10手
正解者：20名

推22 2011/9 DD++作

歩頭戦術 9手

- ・ 9手で詰んだ
- ・ 4手目は後手歩頭
- ・ 5手目は後手歩頭
- ・ 7手目は後手歩頭
- ・ 9手目は43歩成

<詰将棋メモ 第48回出題 第1番>

▲4六歩 △3四歩 ▲4五歩 △4四角 ▲同歩 △4二玉 ▲5四角
▽5一金右 ▲4三歩成 まで9手
正解者：25名

推23 2011/9 タラパパ作

付き合いもほどほどに 9手

- ・ 9手で詰んだ
- ・ 3手目は3筋に不成
- ・ 5手目は5筋に不成
- ・ 7手目は7筋に不成
- ・ 8手目は8筋に不成

<詰将棋メモ 第48回出題 第2番>

▲7六歩 △5二玉 ▲3三角不成 △5一金右 ▲同角不成 △4二金 ▲
7三角不成 △8八角不成 ▲5一金 まで9手
正解者：25名

推24 2011/9 中村雅哉作

終局前の足取り 9手

- ・ 9手で詰んだ
- ・ 6手目は24の着手
- ・ 7手目は64の着手
- ・ 8手目は25の着手
- ・ 9手目は15の着手

<詰将棋メモ 第48回出題 第3番>

▲7六歩 ♽3四歩 ▲2二角成 ♽4二玉 ▲2一馬 ♽2四歩 ▲6四桂
♽2五歩 ▲1五角 まで9手

正解者：24名

推25 2011/10 山葵茶漬け作

大駒乱舞の超急戦 10手

「さっき隣でやっていた将棋、とんでもない急戦だったね」

「王手は3手目角成、6手目飛成、最終10手目六七角、の3回か」

さて、どんな将棋だったのだろうか？

<詰将棋メモ 第49回出題 第1番>

▲7六歩 ♽3二飛 ▲3三角成 ♽同 飛 ▲4八玉 ♽3七飛成 ▲5八
玉 ♽7七角成 ▲6六歩 ♽6七角 まで10手

正解者：22名

推26 2011/10 鈴木優希作

とどめは4七金 10手

「隣の将棋、3手目の6八玉まで見てたけど、あの後どっちが勝ったんだい？」
「10手目の4七金で先手が詰まされてた。角の手が2連続したのが印象的だったなあ」

さて、どんな将棋だったのだろうか？

<詰将棋メモ 第49回出題 第2番>

▲5六歩 △3四歩 ▲6八玉 △7七角不成 ▲5七玉 △5九角成 ▲6
六角 △6九馬 ▲4六歩 △4七金 まで10手

正解者：17名

推27 2011/10 タラハパ作

負けて恥かくなり 10手

「駒打ちがないのに駒取りが5回、激しい将棋だったねぇ」
「端に角を成って勝ったと思ったのに、たった10手で詰まされて恥かいたよ」

さて、どんな将棋だったのだろうか？

<詰将棋メモ 第49回出題 第3番>

▲7六歩 △4四歩 ▲同 角 △4二飛 ▲3五角 △4七飛不成 ▲1三
角成 △同 角 ▲5八玉 △5七飛成 まで10手

正解者：16名

推28 2011/11 KG作

泣く王がよかった 8手

師匠「ほい8手目、これで詰みじゃ」

弟子「ま、負けました」

弟子「師匠、どこがいけなかったのでしょうか？」

師匠「うむ、あそこじゃな」

(局面を何手か前に戻す)

師匠「ここで『▲7九玉』と指していたらもっと粘れたであろう」

さて、どんな将棋だったのだろうか？

<詰将棋メモ 第50回出題 第1番>

▲6八玉 ▽8四歩 ▲7八玉 ▽8五歩 ▲6八銀 ▽8六歩 ▲7九角
▽8七歩成 まで8手
正解者：23名

推29 2011/11 チャンプ作

直進流 15手

少年A「将棋には真っ直ぐ進める駒が多いよねー。」

少年B「そりゃまあ角と桂以外の駒は進めるからね・・・って今更何を言い出すんだい？」

少年A「いやね、昨日▲7八銀△5四歩から始まった将棋を見かけたんだけど。」

少年B「変な出だしだね・・・。それがどうかしたの？」

少年A「実はその後もお互いが駒を成らずに直進する手だけを指し続けて15手で詰んだんだよ。」

少年B「それは何とも皮肉な将棋だね。」

さて、どんな将棋だったのだろうか？

<詰将棋メモ 第50回出題 第2番>

▲7八銀 △5四歩 ▲5六歩 △5二玉 ▲5五歩 △5三玉 ▲5四歩
▽同 玉 ▲2六歩 △5五玉 ▲2五歩 △5六玉 ▲2六飛 △5七玉
▲4八金 まで15手 正解者：22名

推30 2011/11 DD ++作

南無三！ 15手

「さっきあっちで『南無三！』って叫んでたけど何があったの？」

「3枚も歩を成って、たった15手で詰ませたものだからつい。」

「『南無三！』ってことは、成った場所は7筋と6筋と3筋？」

「うん。順番はバラバラだけどね。」

さて、どんな将棋だったのだろうか？

<詰将棋メモ 第50回出題 第3番>

▲3六歩 △7四歩 ▲3五歩 △7五歩 ▲3四歩 △7六歩 ▲3三歩成
▽7七歩成 ▲7三歩 △7二歩 ▲同歩成 △6七と ▲6二歩 △5二金
右 ▲6一歩成 まで15手 正解者：20名

推31 2011/12 詰工房有志作

龍を詰ましてみよう 7手

「よし、後手番だけど龍も作ったし有利に進みそうだぞ」

「でも7手目にこうしてその龍が詰むけど」

「げっ、あの6筋の手はそういうことか……」

さて、7手目まではどんな将棋だったのだろうか？

〈詰将棋メモ 第51回出題 第1番〉

▲7六歩 ▼4四歩 ▲同 角 ▼4二飛 ▲6六角 ▼4七飛成 ▲4八飛
まで7手 正解者：20名

推32 2011/12 DD++作

24年の龍の年 11手

「今年の指し初めは縁起がよかったよ」

「どんな将棋だったんだい」

「24年の龍年の1月1日に指した将棋が、24龍まで11手の詰みで勝ったんだよ」

「へえ、それはおめでたい話だ」

「相手もゲンを担いだのか最初に24に着手してたよ」

さて、どんな将棋だったのだろうか？

〈詰将棋メモ 第51回出題 第2番〉

▲2六歩 ▼2四歩 ▲2五歩 ▼4二玉 ▲2六飛 ▼3二玉 ▲3六飛
▼2三玉 ▲3三飛成 ▼1四玉 ▲2四龍 まで11手
正解者：21名

推33 2011/12 館長作（余詰）

連続24回歩の着手 48手

「お互いに最初は同じ筋にあった駒を動かしたあの将棋すごかったね」

「後手は歩の着手24回のみで、成ることもなく20回の王手で詰ませたよ」

「後手は連続して同じ段の駒は動かさなかったんだ」

さて、どんな将棋だったのだろうか？

<詰将棋メモ 第51回出題 第3番>

▲3六歩	▽3四歩	▲4八玉	▽3五歩	▲3七玉	▽3六歩	▲3八玉	
▽3七歩不成	▲同玉	▽3二歩	▲2六玉	▽3三歩	▲1五玉	▽1四	
歩	▲1六玉	▽1五歩	▲2五玉	▽2四歩	▲2六玉	▽2五歩	▲3五
玉	▽3四歩	▲3六玉	▽3五歩	▲4五玉	▽4四歩	▲5五玉	▽4五
歩	▲3三歩	▽5四歩	▲5六玉	▽5五歩	▲6五玉	▽6四歩	▲6六
玉	▽6五歩	▲7五玉	▽7四歩	▲7六玉	▽7五歩	▲8五玉	▽8四
歩	▲8六玉	▽8五歩	▲9五玉	▽9四歩	▲9六玉	▽9五歩	まで4

8手

正解者：16名

推34 2011/3 一乗谷酔象作

馬ががんばった堂々巡り 60手

「4手目から『同X』を連続して60手で勝ったんだ。同々の最長手数を達成したよ」

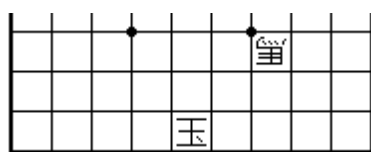
「まさか。ホントかい？理論上は58手が最長と聞いていたんだけど」

「馬が頑張った将棋だったよ。馬を取った角は、成ってから7種の駒を取ったんだ」

「まさか。ホントかい？角が品切れで残りは6種のはずだけど」

「そうなんだ。この局面を見てくれよ。」

--- (図は58手目 初王手の局面) -----



「58手目に37同馬と初王手を掛けた局面なんだ。ここで、合駒のない先手は、玉自ら48に突撃してきたので、60手目にありがたく48同馬と取ったのさ」

「なんだ59手目は反則だったか。もう少し詳しい手順を教えてくださいよ」

「後手の大駒が活躍したよ。後手は8回続けて大駒を動かした。3回連続飛車の手もあったし、3回連続角の手もあった。角が成った後、成ったばかりの馬が次の手から3回連続動いた。馬は、角以外の6種の駒を取った後、最後に玉を取ったんだ」

「ほかにはどんな手があったの？」

「22手目と46手目に金を取ったし、16手目と28手目は成香を取った。香が成って飛を取る手があった。端の香打ちがあった。不成はなかった」

さて馬ががんばった「同々」最長手順とは、どんな将棋だったでしょう。推理してください。

<第10回詰四会フェアリー作品展 第2番>

76歩 32飛 33角成 同角 66歩 同角 75歩 同角 36歩 同飛 96歩 同飛 86歩 同飛
93香成 同桂 85歩 同桂 77歩 同桂成 78金 同圭 16歩 同飛 26歩 同飛 13香成
同桂 97歩 同香成 46歩 同飛 97桂 同角成 96香 同馬 78銀 同馬 23飛成 同馬
56桂 同飛 同歩 同馬 38金 同馬 25歩 同桂 17飛 同香成 同桂 同桂成 28香 同
圭 同銀 同馬 37桂 同馬 48玉 同馬 まで 60手

正解者：1名

推35 2011/10 一乗谷酔象作

指す手がないから仕方がない 29手

博士「盤上の理論もいいけど、やっぱり実戦が一番。たまには一局やるか」

助手「はい。私の先手番でいいですね。では、お願いします」

・・・ 29手目先手の着手の後、

30手目後手の手番で・・・

博士「まだ、詰まされていないけど後手に指す手がないから仕方がないね。負けました」

助手「ありがとうございました。感想戦をお願いします」

博士「ゆるめすぎたか。でも、難しい将棋だったから徹底的に分析してみよう。

ふむ、この将棋は1～6の数字に関連づけて特徴づけられそうだ」

博士「①1手も指せる手のないスタイルメイトになったのは29手目着手後、30手目後手番の局面だった」

助手「続けますよ。②2回連続して王手をかけました。③3回連続して不成の手を指しました」

博士「④4回連続して玉の手を指した」

助手「⑤5筋に駒を打ちました」

博士「そして、最後は・・・⑥6手目は4手目と同種の駒の手を指し、6手目と同じ筋に8手目を指した」

助手「最後の条件が苦しそうですが・・・」

博士「最短手数スタイルメイトが完璧に分析できたな」

さて、六つの特徴のある「最短手数スタイルメイト」とはどのような将棋でしょうか？

二人の会話を元に推理してください。

<第37回WFP作品展 37-7>

76歩 62玉 33角生 24歩 22角生 94歩 56角 93香 83角生 12香 61角生 84飛 13角生 74飛 31角成 13桂 43角成 72玉 41馬 83玉 63馬 84玉 74馬 95玉 15飛 25歩 53馬 62銀 同馬 まで 29手

正解者：0名

推36 2011/11 一乗谷酔象作

至高のスタイルメイト 29手

博士「君も腕を上げたな。今度は私が先手番でいいね」

助手「はい。では。お願いします」

・・・ 29手目先手の着手の後、

30手目後手の手番で・・・

助手「負けました。まだ、詰まされていないけど後手に指す手がないから仕方ありません。21手目に初王手をかけられたところではまだまだと思ったんですけど・・・馬で取られた駒を三段目に打たれ、更に次の手で三段目の駒を取られてしびれました。私のどの手が悪かったのでしょうか」

博士「4手目と8手目に香の手を指した序盤が甘かったね。でも、君のおかげで『至高のスタイルメイト』が完成したよ」

さて、至高のスタイルメイトとはどのような将棋でしょうか？

二人の会話を元に推理してください。

<第38回WFP作品展 38-1 1修正>

76歩 42金 33角成 92香 22馬 14歩 21馬 13香 31馬 32金 53馬 84歩 63馬 42玉
73馬 33玉 82馬 24玉 93馬 15玉 95飛 85歩 71馬 33金 61馬 24金 33角 93桂
43馬 まで 29手

正解者：2名

推37 2011/10 ミニペロ作

9手

- ・ 9手で詰んだ
- ・ 5手目は5筋以外
- ・ 6手目は角頭
- ・ 7手目は銀の尻
- ・ 8手目は金銀以外の駒

<詰工房オールカマー2011 推-1>

▲7六歩 △7二銀 ▲6六角 △7一金 ▲9三角不成 △9二飛 ▲7一角不成 △6一玉 ▲6二金 まで9手

正解者：1名

推38 2011/10 大橋光一作（余詰）

41手

- ・ 41手で詰
- ・ 先手は歩の着手の2手後、必ず歩以外の小駒の着手をした。
- ・ 王手は13回生駒での王手のみで、飛車鋸による12回連続両王手があった。
- ・ 着手直後に取られる駒はなかった。
- ・ 後手の角に駒を取られることはなかった。

<詰工房オールカマー2011 推-2>

▲7六歩、▽4二玉、▲9八香、▽3二玉、▲3三角不成、▽2四歩、▲2二角不成、▽2三玉、▲9九角不成、▽3四玉、▲5六歩、▽4五玉、▲7七桂、▽5六玉、▲8八飛、▽6七玉、▲8九角、▽7七玉、▲7八飛、▽6七玉、▲7七飛、▽6六玉、▲6七飛、▽5六玉、▲6六飛、▽5五玉、▲5六飛、▽4五玉、▲5五飛、▽4四玉、▲4五飛、▽3四玉、▲4四飛、▽3三玉、▲3四飛、▽2三玉、▲3三飛不成、▽2二玉、▲2三飛不成、▽1二玉、▲2二飛不成 まで41手

正解者：3名

推39 2011/10 渡辺秀行作

11手

推理将棋道場にて隣同士で将棋を指していたA君とB君の会話です。

A君「僕は開始後たった11手で詰めたところだよ。この桂打が僕の自慢さ」

B君「どれどれ。奇遇だね。私も君と全く同じ盤面で相手を詰めたところさ。持駒も君と同じさ。ただし、私の場合は8手で詰めたんだけどね」

A君「それは素晴らしい。どんな手順だったの？」

B君「歩の着手、駒を成る着手、歩の着手、という3手の応酬があったのがポイントだよ」

A君「なるほど。一方が2手連続で歩の着手をしている間にもう一方が駒を成ったという訳か」

B君「そういうことになるね」

さて、A君とB君の将棋の手順は？

<詰工房オールカマー2011 推-3>

A君の手順 ▲7六歩、▽3四歩、▲2二角成、▽5二玉、▲2一馬、▽5一金左、▲5四桂、▽同歩、▲3一馬、▽2一桂、▲5三銀 まで11手

B君の手順 ▲5八王、▽3四歩、▲7六歩、▽8八角成、▲5六歩、▽7九馬、▲5九金左、▽5七銀 まで8手

正解者：3名

推40 2011/10 吉田直嗣作

究極のスタイルメイト

博士「将棋のスタイルメイトを知ってるか？」
助手「指す手がない局面でしょ。知ってますよ」
博士「持駒が残るスタイルメイトはどうだ？」
助手「えー。そんなのできますか？あっそうか、持駒9枚までならできますね」
博士「残す持駒はもっと増やせないか？ちょっと考えてみなさい」
助手「はい。がんばります。博士」

後日・・・

助手「博士。できました」
博士「そうか、持駒10枚ができたか」
助手「いいえ。残す持駒は11枚です」
博士「ほんとうか。それはすごい。成駒は何枚使ったの」
助手「成駒は1枚だけです」
博士「ちょっとその局面を将棋盤に並べてくれないか」
助手「それでは・・・っと」
助手が並べはじめ、盤面に銀を4枚おいたところ【出題図】で・・・
【出題図】

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
		銀			銀				一
									二
									三
									四
									五
								馬	六
									七
									八
							馬		九

博士「なるほど、わかったよ。よくやったな。究極のスタイルメイトの完成だおめでとう」
助手「ありがとうございます」

さて、究極のスタイルメイトとはどのような局面でしょうか？二人の会話を元に推理してください。

〈詰工房オールカマー2011 局-1〉

	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
一	金	金	銀	金	金	銀				
二	歩	歩	歩	歩	歩	王	歩	飛	科	
三						歩		科	王	
四								飛		
五								香	馬	
六								馬	駒	
七								科	桂	
八								皇	香	
九								駒	香	

持駒 歩11

正解者：2名

推41 2011/12 変寝夢作 (余詰)

対面推理将棋 6手

- (1) 6手にて後手の勝ち。
- (2) 成の手があった。
- (3) 3手目と5手目は同種駒の着手。

〈第2回フェアリー短編コンクール 02-06〉

5八玉 3四歩 7六歩 8八角成 5六歩 5七角 まで 6手。

推42 2011/12 変寝夢作

対面推理将棋 6手

- (1) 6手にて後手の勝ち。
- (2) 5手目は金を斜めに上がる。

〈第2回フェアリー短編コンクール 02-07〉

5八玉 3四歩 7六歩 8八角成 5六歩 5七角 まで 6手。 正解者：5名

推43 2011/12 渡辺秀行作

平成24年新春推理将棋大会 11手×2

A君とB君が新春推理将棋大会の結果について話しています。

A君「僕は1月1日辰年だから11手目に龍を動かして相手玉を詰めたよ」

B君「僕は平成24年1月1日ということで24に着手して相手玉を11手で詰めたよ。

『同角生』と取った駒を一段目に打った手が決め手になったね。」

A君「終局図を良く見てごらんよ。駒の向きはさておき、

盤面上の大駒と玉の配置が君と僕の将棋でほとんど同じだね」

B君「そうだね。玉と生角計4枚と龍の配置が同じだ。

飛の配置が1マスだけずれているけどね」

さて、A君とB君の将棋の手順は？

<詰将棋メモ 第51回出題 第4番>

<A君の将棋> ▲7六歩 ▼3二飛 ▲3三角不成 ▼5二玉 ▲2四角不成
▼3七飛不成 ▲3八飛 ▼2七飛不成 ▲3一飛成 ▼3二金 ▲同龍 ま
で11手。

<B君の将棋>▲7六歩 ▼3二銀 ▲3三角不成 ▼4二飛 ▲同角不成 ▼
5二玉 ▲3一飛 ▼5一金左 ▲3二飛成 ▼6二金左 ▲2四角不成まで
11手。 正解者：3名